

令和7年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第3回）

日 時：令和7年6月19日（木）午後6時00分～午後8時

出 席：大槌(会長)、加藤(副会長)、内金崎、長谷川、小笠原、岩元、能村、森、広瀬
(敬称略)

欠 席：小林

傍 聴：なし

事務局：高木(西砂学習館係長)、水崎(西砂学習館職員)

1 開会挨拶

(会 長)：暑い日が続いているので、それぞれ熱中症対策を取られていることと思う。

6月になり、今年度の地域活性化講座がスタートした。昨日（6月18日）の「楽しく健康！認知症予防講座」は、素晴らしく活気があり楽しい講座だった。年に1回、西砂学習館で「認知症予防講座」を行うことが定着してきている。帰宅後も学んだことを実践して脳に刺激を与え、新しい知識を得て、来年も元気にお会いしたいと実感した。当日は非常に暑い日だったため、キャンセルが出たことは少し残念だった。サマーイベントは、みなさんのご協力で最終審議の段階に来ている。子どもたちが「ここに住んで良かった」と思えるような地域であってほしいので、忌憚のない意見を伺いたい。

2 協議、報告及び連絡事項

(1) 委員の辞任について

(事務局)：杉之原委員は、推薦母体が立川市文化協会だったが、脱退されたため、ご本人からの辞任願を受理した。庁内の手続きはこれから行う。

(会 長)：杉之原委員とは今まで一緒にがんばってきたが、本人の希望や委員の要件などもあり、辞任することになった。

(2) 第2回運営協議会（5/13）の会議録（案）について（資料1）

(事務局)：修正点等がある場合には、2週間以内（7月3日まで）に事務局に連絡をお願いする。（資料1）

(3) 認知症予防講座（6/18）の実施状況について（資料2、3）

(事務局)：担当の委員から説明をお願いします。

(委員A)：講座にご協力いただいた岩元さん、委員のみなさん、ありがとうございました。申込は23人だったが、当日の参加は16人だった。アンケート結果を見るとおおむね良好でほっとしている。前半は、かみすな地域包括支援センターの認知症支援推進員と看護師から、地域の中での情報や認知症の理解啓発について話してもらい、気を付けるポイントはお伝えできたと考えている。認知症チェックリストは講座中には時間不足でできなかったが、自宅で行われたことと思う。認知症の前段階 MCI（軽度認知機能障

害)という状態であれば、食生活や運動など気を付ければ、認知症にならず健常に戻れるという話があり、参加者の方は安心したように見受けられた。

後半は、手・体・頭を動かし、いい雰囲気ですべてできていた。

(委員B)：コロナ以前は、同様の講座を頻繁に実施していたが5年ぶりだったので心配だった。自分自身が「MCI」だと思っているので、あわよくば戻りたい。受講者のみなさんが楽しんでやってくださっていたのが印象的だ。「こうでなければならない」と思い込んできた世代だが、「できなくていい」と意識転換をお伝えした。自分自身も磨きをかけていきたい。

(委員C)：いい講座だった。後半は約30分のプログラムだったが、1時間くらいが理想か。

(委員B)：1時間あればいろいろできるが、座学を含めるとあの時間(座学50分、休憩10分、体操30分)が最適だろう。

(委員C)：老人会でもやってほしい。

(委員B)：呼んでもらえればどこでも行く。楽しいと思うことがとても大切で、「上手にできましたね」とほめられることは子どもだましのようだが、大人になるとその機会が減るのでとても大切なことだ。

(会長)：できなくてはいけないという呪縛にとらわれてきたが、「できないことが脳の刺激になっていい」と伝えられた。どうしても「できるようになる」ことを目標値においてしまうが、失敗する、間違えることが脳の刺激になるという違う価値観を学ぶことができた。

(委員B)：派遣先に合わせて、研修内容は難しすぎない、易しすぎないように考えていく。

(会長)：老人会の活性化にもつながると思う。

(4) 西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！～について(資料4～8)

(事務局)：資料4～7を基に説明。

・チラシについて

(事務局)：チラシ案の動作確認用二次元コードから実際に操作してご意見をいただきたい。

(委員D)：きょうだいの申込の表現は、ほかに参加を希望する「小学生」にしてはどうか。

(委員A)：きょうだいでも違う講座に申込をする場合があるので、一人ずつの申込にしたほうがいい。

(委員D)：名前は、漢字やひらがなでも申込できるのか。

(委員E)：名前はカタカナで入力してくださいとすればいい。

(委員C)：申込は、電子申請でと書いてあるが、電話でも受け付けるのか。

(事務局)：受け付ける。

(事務局)：ルビはふったほうがいいのか。

(委員B)：そのほうがいい。

(副会長)：中央大学の学生に周知するために、チラシができたら6/25か6/26までに現物かメールでいただきたい。

(委員D)：自分にも送ってください

(事務局)：承知した。

・その他

(会 長)：昼食がお弁当だと短時間で食べ終えてしまう。子どもの安全管理を考えて、昼食後にミニ映画会を開催する。来館の有無に関して、名簿で十分に管理する必要がある。何かあれば家庭にすぐに連絡をしなければいけない。子どもの出入りは安全確認の意味で重要な案件だ。

(委員B)：小さいお子さんでも、学習館と自宅を一人で行き来できるのか。

(委員E)：学区内であれば、小学生は自由に移動している。

(委員F)：資料6について、「西砂地区体育会」でなく「西砂川地区体育会」に変更してほしい。

(事務局)：承知した。

・応援体制について

(事務局)：講座の実施にあたり、例年同様委員のみなさんにはご協力をお願いします。担当の委員さんは基本的に参加いただければありがたい。

(応援案)

日付			ご担当委員					
7/22	午前	ステンド風	事務局	会長	副会長	岩元		
	午後	ロボット	森委員	会長	副会長	岩元		
7/29	午前	イギリス	森委員	会長	副会長	岩元	広瀬	
	午後	なかま	広瀬委員	会長	副会長	岩元		
8/5	午前	チリモン	小笠原委員	会長	副会長	森		
	午後	音楽会	小笠原委員	会長	副会長	森		
8/19	午前	トランプ	大橋会長	会長				
	午後	ボッチャ	能村委員	会長				

(委員C)：東京医療保健大学の学生が、先日の認知症予防講座にも応援に来ていたが、サマーイベントにはボランティアで来てくれないか。

(委員A)：認知症予防講座には、地域包括支援センター経由で実習のために来たので、ボランティアとなると別の話になる。看護学生は忙しいので難しいと感じる。

(委員C)：東京医療保健大学の教授がご熱心で、一番町傾聴クラブの顧問にもなっていたが、2年前に仙台に転勤になってしまった。

(5)地域学校コーディネーターとの第1回情報交換会について（令和7年7月予定）

(事務局)：西砂小、松中小、立川第七中のコーディネーターに、事前に希望日を確認した。

資料（資料9）を基に、意見・情報交換会の日時を決めたい。

(会 長)：3校のコーディネーターが集まれる日程でお願いしたい。事務局は、この会に参加できない委員のために、記録をして内容を伝えてください。

(事務局)：サマーイベントの1回目になるが、7月22日（火）18時30分～で準備を進める。

地運協委員の参加予定：大橋会長、加藤副会長、能村委員、森委員、広瀬委員
コーディネーター兼務：長谷川委員、岩元委員

(6)「第45回西砂学習館まつり」の実施状況について

(事務局)：事務局職員が、西砂学習館まつり未経験者と西砂学習館2年目の職員だったため、準備等の不備をいくつかご指摘いただいた。その他(資料10)参照。

(会長)：まつり前の実行委員会で、アンケートの要望があり、今回実施していただいた。まとめることは大変だったと思う。アンケートの意見は今後活かしていきたい。みなさんも、じっくり読んでみてください。

西砂学習館運営協議会の展示物は、力作だとの声がある一方、高齢者には読みづらいという意見もあった。作品ではなく報告のため、どうしても情報量が多くなってしまうことは仕方がないと思っている。

まつり後の実行委員会では、西砂小の運動会と重なって来場者に影響したのではないかとの意見も出たが、日程を秋にしたとしても他の行事と重なることもある。また、係長から、市内6館でのバランス(時期やお互いの館の協力体制など)があると伺った。そのため、最終的には、来年も5月の同時期に行うことが決定した。

(7)地域活性化講座等における食事提供と調理の指針について

(事務局)：前回(5月)会議で、上記指針について5月中に教育長決裁を取ると申し上げたが、その後生涯学習推進センター内で指針作成後の運用方法も含めて検討した結果、時期は7～8月に延期されることになった。当初は、生涯学習推進センター全体の指針を作成する予定だったが、そのことにより、どのような軋轢が起こるかが上層部を含めて自信が持てないとのことだ。そのため、まずは地域活性化講座から運用を始めて、問題がなければ徐々に範囲を広げるという方向性になった。このことについては、次回の生涯学習推進審議会でも説明がされると聞いている。

(会長)：指針や運用方法が決定したら、報告をお願いします。

(8)各委員からの報告及び連絡事項について

(委員)：西砂川地区文化会では、昨年まで「カラオケ大会」を実施していたが、今年からは「地域の音楽祭」を実施する予定だ。天王橋会館では行われているのだが、西砂会館では行われていないため、8月10日(日)に地域のみなさんの演奏を発表する場として提供したい。現時点では、第七中の吹奏楽部と、川野さんという地域のコントラバス演奏者が出演される。

立川第七中水曜教室のボランティアが、様々な事情により参加できないことが多い。先日、知人が校長の面接を受けて、ボランティアに決まりそうだ。副校長も副校長補佐がいらないため非常に多忙だ。そのため水曜教室ボランティアの出欠は、コーディネーターが行うことになった。

(委員)：7月12日(土)併設の松中学童保護者会と児童館の共催で「夕涼みイベント」を行う。青少健委員にもご協力いただき、館内縁日、盆踊り、花火鑑賞を実施する。

8月6日（水）西砂学習館と共催で「80年前の子どもの暮らしを調べてみよう」講座。戦後80年で、戦争の記憶も薄れていく中で、戦争や平和について考えるいいチャンスだと考えている。

今は子どもたちにとって「魔の6月」で、不安定な時期だ。大きな事故やトラブルはないが、自我が出てきている。西砂児童館は中学生の利用が多いので、居場所としても機能としても小学生とどのように共存できるかが夏休みに向けての課題だ。中規模改修が延期になっていて、エアコンが効かず室内が30度になるなど、施設の老朽化が著しい状況が続いている。

西砂児童館は学童を併設しているため、第三小の事件を受けて不審者の対応訓練をきちんとする必要がある。立川警察に今までは訓練の依頼ができていたが、今年は一切できない。主管課に確認したら学童でも断られたそう。自分は事業所全体の研修プロジェクトリーダーでもあるので、早急にしなければならないのだが、民間の警備会社も含めて引き受け手が見つからない。子どもたちの安全のために必要不可欠な訓練だと考えており、情報をお持ちの方がいらっしゃったらお寄せください。

（会 長）：要請が多すぎて、対応ができないということなのか。なぜ引き受けてくれないのか。

（委員）：問い合わせても「上が駄目だというからできない」という回答しか得られない。

（会 長）：警察OBの「スクールポリス」という制度はないか。警察が難しいということであれば、警備の知識を持っている人をお願いできないか。

（委員）：最悪の場合は、職員が動画で学ぶしかない。

（会 長）：第三小は、バリケードを作ったり、体育館に逃げたりするなど、日ごろの不審者対応訓練が活きて子どもたちを守ることができた。不審者対応訓練について情報があればお寄せください。

（委員）：5月17日（土）に青少健総会を行った。一番大きな出来事は、委員長が長年務めていた石井から上野に変わったことだ。最近では青少健委員に大きな入替はないが、これからも力を合わせてがんばっていききたい。

6月6日（金）市民科の授業で鳴島さんの畑に行った。お茶は時期を過ぎていたが、新芽を積んだりブルーベリーやキュウリの見学をしたり説明を受けたりした。地域に協力してくれる人がいることはありがたいことだと思っている。

6月17日（火）恒例行事である青少健の麦刈りをした。暑い日で熱中症に気を付けて行い、無事に終了した。西砂小（5クラス）→松中小（3クラス）の順で行ったが、西砂小の児童の多さに驚いた。これから脱穀して粉にし、松中小6年生の麦プロジェクトで「洋菓子のプルミエール」でクッキーを作ってもらい、販売する。また、松明づくりをして松明まわしをする。

（委員）：今まで地域との関わりが少なかったが、今後地域活動をしてみようかと考えている人向けに「たちかわ地域サポーター講座」を実施する。地域につながる一歩となるため、身近に対象の方がいたらお声がけください。

（委員）：ぜひ、男性に声をかけていただいて、家に閉じこもらないようにしてほしい。

（委員）：西砂学習館ではマージャンサークルの活動が活発なので、そのような場でチラシを配布するといったのではないかな。自分が楽しむだけでなく、少しでも地域活動を

するきっかけができればいいと思う。

(委員) : 子ども食堂に、今年度立川市の子ども政策課から助成金を出す。その成果か、地域福祉コーディネーターが知らない子ども食堂がこのエリアでも何か所かできそう。もともとこの地域は、子ども食堂や誰でも食堂が多いエリアで、そうなると思う。と行くこと自体が普通になる。活動が盛り上がることで、貧困層だけが行く場所ではなく、生活の一部になってくる。そうなれば、本当に必要としている子どもが行きやすくなると考えている。そのため、コーディネーターとしても活動を引き続き支援していく。

(委員) : 年末までの講座について検討中で、8割程度決まってきた。極地研講座、クッキング講座、パソコン講座は定期的に各学習館やアイムで行っている。新しい講座として、9月16・30日(火)【往年の名アナウンサー：村田幸子さんのお話】～老いの暮らしを創る～講座。

11月1日(土) ノーベル賞を受賞した被団協の代表理事(東京)である家島昌志さんの講演会。

(委員) : きらり・たちかわ夏号が発行された。表紙と特集で「立川おはやし保存会」を採りあげた。写真はすべて「立川おはやし保存会」が提供してくれ、迫力ある紙面ができた。

9月20日(土) 写真でたどる「映画の街」立川 講演会。かつては、立川に10館もの映画館があった。ぜひ、お時間があれば参加してください。

裏面の図書館特集では「西砂図書館」が掲載されている。今号以降、中央図書館と錦図書館の2館を特集する。

(委員) : 6月17・18・20日、「再就職を目指す女性のためのパソコン講座」を実施。受講者は多く、30代の女性も参加している。

サマーイベントの担当講座は、いい講座になるよう内容を詰めていく。

(委員) : 西砂学習館で活動している2つのサークルに参加している。ひとつは「せせらぎ会」。西砂学習館まつりの体験教室では3人の参加だったが、高松学習館で行った市民企画講座では、半日で定員を満たすほどの反響だった。もうひとつは「一番町傾聴クラブ」。「一番町傾聴クラブ」は、緩やかなサークルだが、人が増えつつある。訪問先からの「もっと来てほしい」という要望に応えきれていないので、さらにひとを増やしていきたい。

昨日(6月18日)から、「傾聴を知る」～穏やかな人間関係づくりとは～講座が始まった。NHK学園の素晴らしい先生が講師を務められている。先日行った哲学の講座も大きな反響があり、世の中はこのようなことを求めていると感じた。しかし、残念ながら西砂学習館で実施すると参加者が集まりづらい。

(事務局) : サマーイベントに加えて、8月6日「80年前の子どもの暮らしを調べてみよう」(西砂児童館)、8月8日「環境マークってなんだろう?～地球を守るために自分たちができること～」(幸学習館)、平和人権講座の準備を進めている。

(事務局) : サマーイベントの内容を講師と打合せをしている最中だ。また、7月から「立川から考える戦争と平和」講座を市内6館で行う予定になっている。まずは南エリアの3館で行い、10月から北エリアで行う。その他の講座も、詳細が決まり次第お知らせする。

8月17日から3日間、中学生の広島派遣事業で各中学校から代表の1人の生徒を広島に連れて行く。その実地踏査を6月15日～16日にしてきた。曇りのち晴れの天気だったが、それでも気温は30度を超えていた。8月は、猛暑の中での派遣事業になるため、安全に派遣学習できるよう配慮したい。

3 その他

○次回の地域学習館運営協議会の日程について

※次回開催；次回（第4回）は、令和7年7月8日（火）18:00～

- ＜配布資料＞
- ・資料1 令和7年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録(第2回)(案)
 - ・資料2 「楽しく健康！認知症予防講座」資料
 - ・資料3 講座名「楽しく健康！認知症予防講座」アンケート結果集計
 - ・資料4 令和7年度 西砂サマーイベントの実施内容（案）
 - ・資料5 令和7年度 西砂サマーイベントの講座概要について
 - ・資料6 令和7年度 西砂サマーイベント 上映予定作品（案）
 - ・資料7 チラシ案「西砂サマーイベント◆夏休みは学習館へ行こう◆」
 - ・資料8 令和7年度 サマーイベントの応援体制（案）
 - ・資料9 【令和7年7月】地域学校コーディネーターとの第1回意見・情報交換会 日程調整表
 - ・資料10 第45回 西砂学習館まつり 感想・意見＜参加団体・来場者＞
 - ・きらり・たちかわ 夏号